

景況実感調査(2018年8月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 稼働日19日と、対前月2日減。暑さも厳しく現場レベルで従来より休憩時間を自主的に長く取る等、熱中症予防に対処した。商況は弱く、この傾向は前月同様に改善されていない。店売り部門と紐付き部門の落差は、メーカーと流通部間で共有化されず、トヨタの集購価格もその現れか。激甚災害も全国で多発し、その影響にも注意が必要。
- ② 8月は連休の影響もあり前月比微減と、物静かな状況。市況は自動車支給価格の発表を受け、価格積み上げが苦しくなってきた。
- ③ トヨタ集購価格の影響(値上げくい止め)が出るだろう。しかし、これ以上状耐えられないので個別交渉も辞さない状況となった。

中板

- ① 自動車・建機等ユーザーの需要は堅調で、災害復旧関連で敷板や厚板の一部薄手サイズに逼迫感が見られるが、店売り市場全般はマーケットの末端需要に勢いがなく、引合い、荷動きともに盛り上がりを欠いたままの状態である。そうしたことから、市況にも変化はなく、仕入れ上昇分の価格転嫁が進んでいない。厚板のメーカー価格上昇が今後の中板市況に好影響となることを期待するが、一方、今年度下期のトヨタの支給価格が据え置かれ、店売り材との価格上げ幅に依然として拮がりがあるとのことから、市況では早速弱気感が漂い始めている。

开形鋼

- ① 7月比、8月は売上、粗利とも微減。当然、一日当たりの売上、粗利も微減。メーカーの不退転の値上げによる市況の続伸、歯抜けサイズの出現が見受けられるが、いま一つ市況や荷動きに勢いが無いのが気になる。

工工开形鋼

- ① 8月の倉出しは増加し、前年同月比も増加。お盆休みもあり、数量は横這い。今月以降で需要期になり、採算重視で値上げを行う。

異形棒鋼

- ① 市況は横這い。土木向け中心に在庫販売はますますの水準。メーカーの販売姿勢が強く、実需に合った販売を継続。

平鋼

- ① 建築関係が好調というが、店売りの荷動きに変化はない。値上げのアナウンスをしているが在庫などの纏まった引合いはない。前回の価格転嫁が終わる前にメーカー

の値上げが発表され、早急に進めなければならぬが、店売り、ユーザー共に反応は薄く難航している。

- ② 連休があり、実質稼働日数が少ない分の減少が見られる。平鋼メーカー各社が8月値上げを発表しているため、客先へ価格転嫁の理解を求めていく。

車体用鋼

- ① 店売りが低調だが物件は出て来ている感じなので、この辺りに期待している。
- ② 受注量はやや増加の見込み。下期は出荷量増に期待。
- ③ 稼働日数の影響から前月比ではマイナスの実績。8月の前半は季節要素の学校案件など好調だったが、後半失速した状況だった。

鋼管

- ① 白SGPは在庫状況が悪い。
- ② 建築向け一部のサイズにおいてタイト感あり。秋口以降の荷動きに期待。
- ③ 例年の8月に比べて荷動きは良く、日当たり出荷量も7月以降伸びている。値上げ転嫁により市況は強含みでの推移が今後も続く見込みである。
- ④ 建築土木の物件進捗が遅れ気味。猛暑の影響かも知れない。先行きの受注は増えている。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車、建設機械、工作機械関連は輸出を中心に堅調な動きが続いている。建設機械が一部の輸出向けに先々調整が予想されるが、全体的には高水準のレベルにあり、しばらくは続くものと思われる。店売りの荷動きは、紐付き分野ほど活発ではなく、盛り上がりや欠く状態で推移している。市中在庫は、メーカーの生産が変わらずタイトな状況が続いている。市況については、強含み横這いとなっている。
- ② メーカーの枠制限の影響なのか仲間での在庫問い合わせが増えている。在庫があれば売れると思われるが、メーカーからの納入日が読めず、在庫が無く逸注しているケースが多い。
- ③ 8月は前月対比でやや増加。

磨棒鋼

- ① 自動車、建機向けの紐付き品は依然として好調を維持している。反面、半導体設備、ロボット関連は米中貿易問題の影響を受け、調整局面となりつつある。店売りは夏季休暇もあり、地方からの引取り便も少なく低調気味。また、注文、見積りともに明細が細かくなっており、忙しさの割に数字への反映が少ない状況。18年度上期のトヨタ集購価格は市中の上げ幅を大きく下回ったが、特殊鋼の供給は今後もタイト感が続くと思われ、販売価格への影響はあまりないのではないかと想像する。

その他

<スクラップ>

- ① メーカーの粗鋼生産量は8月より高くなると聞いているが、9月は後半に連休を控えていることもあり、メーカー側もスクラップの調達量はそれなりに欲しいと考えられる。一時的に調整下げとなりそうだが、弱含みの様子見となりそうだ。

<金属表面処理加工>

- ① 8月は紐付き材、物件物とも計画通り。スポットも1軒当たりの物量が多く、計画より10%増。引合いも先物件だが、見積り依頼も多く見られる。9月も物件物を中心に安定した操業が出来そうである。